

まちづくり交付金 事後評価シート
和倉温泉地区

平成25年11月

石川県七尾市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	七尾市		地区名	和倉温泉地区			面積	60.5ha		
交付期間	平成20年度～24年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	1,898百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路修景整備(高質舗装・照明・修景整備、電線類地中化など)、和倉温泉まちかど広場(仮称)、公園の整備(和倉シーサイドパーク、和倉中町公園、和倉みなと公園、弁天崎源泉公園)									
	当初計画から削除した事業		提案事業										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	①公園の再整備(和倉シーサイドパーク、和倉みなと公園) ②和倉温泉まちかど広場(仮称)			①既存施設を活用していくことが妥当と判断されたため ②観光交流センターと一体となった広場整備を行うこととなったため			影響なし			
			提案事業	総湯改修事業			観光交流センターと併設して整備することとなったため			影響なし			
交付期間の変更		当初	平成20年度～24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	宿泊者数	人/年	900,000	H18	940,000	H24	-	747,389	×	あり なし	・基準年となるH18以降、H19能登半島地震、H20リーマンショック後の世界同時不況によって宿泊者数が大きく落ち込んだが、本事業による魅力アップでH22は回復基調にあった。しかし、H23東日本大震災による影響などの外部要因によって旅行者が減少し、厳しい状況にある。	
	指標2	総湯入り込み客数	人/年	200,000	H18	210,000	H24	-	248,088	○	あり なし	・本事業によって魅力向上が図られた結果、総湯集客力が向上し、日帰り客を中心とする来街者の獲得に成功した。	
指標3	まち歩き者数(七福神巡り者数)	人/年	2,000	H18	2,400	H24	-	9,544	○	あり なし	・無電柱化や休憩施設整備など回遊環境が整ったとともに、七福神巡りのPRIによって旅館宿泊者のまち歩きが促進され、旅行者の行動範囲を旅館内から街なかへと広げることに成功した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1	マリンスポーツ施設利用団体数	団体/年	-	-	-	-	-	3	-	-	・海岸沿いの立地を活かしてマリンスポーツ施設を整備したことにより、若年層を中心とする和倉温泉の新たな誘客に成功した。	
	その他の数値指標2	まち歩き者数(スイーツ巡り者数)	人/年	-	-	-	-	-	19,048	-	-	無電柱化や休憩施設整備など回遊環境が整ったことから、まち歩きが促進され、旅行者の行動範囲を街なかへ広げることに成功した。	
	その他の数値指標3												
その他の数値指標4													
その他の数値指標5													
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・景況によって宿泊者数は厳しい状況にあるものの、和倉温泉地区全体の魅力向上が図られ、総湯を中心に入り込み客数(主として日帰り客)の拡大が図られた。 ・歩行者の視点に立った道路整備(高質舗装・無電柱化など)によって、観光客が地区内を安心して歩けるようになり、歩行者の回遊環境(安全性・快適性)の向上が図られた。 ・マリンスポーツ施設の整備にともない、若者層を中心とする新たな顧客獲得が図られた。 ・和倉温泉街にぎわい再生協議会での協議や地域サロン運営などの具体的な取り組みが、住民主体となって行われた結果、住民のおもなし意識の向上が図られた。 												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					なし		
	住民参加プロセス	・和倉温泉街にぎわい再生協議会の開催 ・まちづくり社会実験企画検討会の開催 ・七尾和倉地区景観協定運営委員会の設置				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・和倉温泉にぎわい再生協議会は、当事業完了とともに終了の予定		
持続的なまちづくり体制の構築	・和倉温泉街にぎわい再生協議会を見直し、新たな体制の下に新組織を発足する予定 ・まちづくり社会実験については、継続的に空き店舗を活用する仕組みを構築 ・七尾市和倉温泉地区景観協定を締結し、和倉温泉の景観形成を図る				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・協議会を見直し、和倉温泉地区における石川県事業の検討を行う新たな組織を設置する予定 ・まちづくり社会実験(空き店舗活用)は、引き続き町会が運営を継続し、運営費用として看板の広告料をあてることとなった ・七尾市和倉温泉地区景観協定は、引き続き未同意者と協議を続け、地域全体の合意形成を図る			

様式2-2 地区の概要

和倉温泉地区(石川県七尾市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 和倉温泉まちなか賑わい再生と住民がいきいきと暮らすまちづくり	宿泊者数	単位:人/年	900,000	H18	940,000	H24	747,389	H24
目標1 安全で快適なまちなか道路空間づくりを推進し、住む人・訪れる人が楽しく行き交う賑わいのある温泉街の再生に取り組む	総湯入り込み客数	単位:人/年	200,000	H18	210,000	H24	248,088	H24
目標2 郷土の歴史、文化溢れる地域独自のまち並みを形成、海岸沿いの立地を活かすとともに、温泉街の情緒を創出し、能登観光の拠点にふさわしい魅力あるまちの形成を図る	まち歩き者数(七福神巡り者数)	単位:人/年	2,000	H18	2,400	H24	9,544	H24
目標3 地域が一体となった『おもてなしのまち』づくり	マリンスポーツ施設利用団体数	単位:団体/年	-	-	-	-	3	H24
	まち歩き者数(スイーツ巡り者数)	単位:人/年	-	-	-	-	19,048	H24



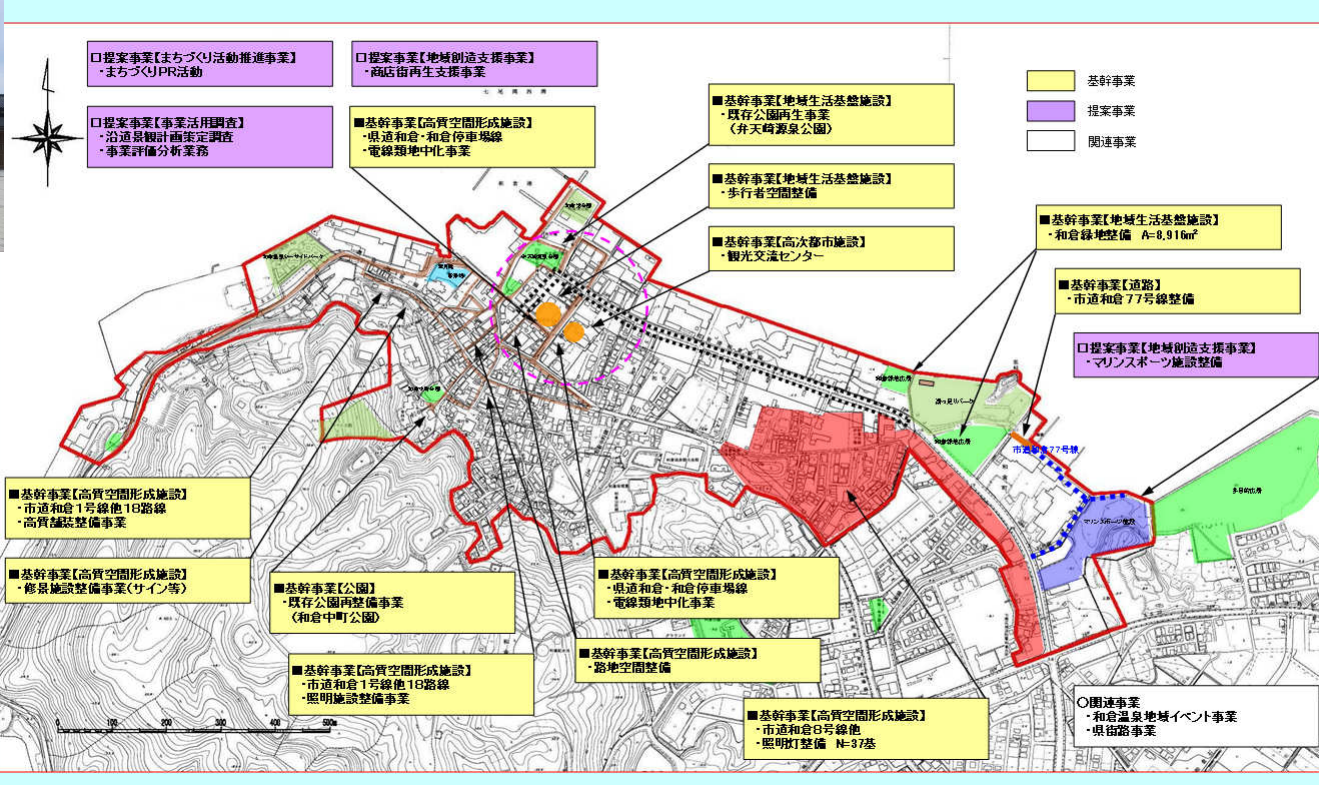
和倉温泉総湯の改修



高質舗装整備などによるまち歩き環境の整備



休憩スポットとなる公園整備(和倉中町公園)



空き店舗活用による地域サロン



マリンスポーツ施設の整備



休憩スポットの整備(弁天崎源泉公園)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路修景整備や公園整備などによって、温泉本来の効能をまち歩きとともに楽しめる環境づくりが実現し、地域住民や来訪者がまち歩きを楽しめる基本的な条件がととのい、まち歩き者数の増加につながっている。とくに、観光交流センターの整備など、まちの核となる施設の魅力が向上し、日帰り客を中心に来訪者数の増大につながっている。 空き店舗を活用した地域サロンの運営や、広場を活用した市の開催など、地域住民と来訪者が交流する場が創出され、住民によるおもてなしが実現している。 まち歩きネットワークの強化の観点から、無電柱化や道路の延伸整備が求められるほか、まち歩きネットワーク沿道の魅力が十分とはいえないことから、沿道の魅力をまち全体の魅力に結びつけ発信することで、宿泊客・日帰り客の増大をめざすことが求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> インフラ面でまち歩きを楽しめる環境づくりが整ったことから、今後は沿道の魅力向上を図ることが求められる。 総湯・観光交流センターを活用した付加サービスやイベントの開催によるさらなる来訪者拡大をめざすほか、まち歩きを促す新たな仕掛けづくりによって、まち歩き者数の増大、滞在時間の延長などを目指す。また、空き店舗や空き地の活用に対する補助を行い、沿道の店舗出店を促す。 日帰り客向けの魅力発信や、日帰り客をターゲットとしたプラン造成などによる集客活動を展開する。 住民との協働によるインフラの適切な管理を行う。 七尾市和倉温泉地区景観協定を運用することにより、和倉温泉の景観形成を図る。 和倉温泉のイメージ戦略や訪日観光客へのおもてなしなど、和倉温泉への集客活動を展開する。